

あけましておめでとうございます。



2021年の日本外交は茂木外務大臣のアフリカ訪問で幕を開けます(なお、茂木大臣は、2020年12月にもアフリカを訪問しています。日本のアフリカ重視の本気度を示しています)。

茂木大臣のアフリカ訪問について、更なる情報は以下の日本国外務省 HP をご参照願います。

[茂木外務大臣のチュニジア、モザンビーク、南アフリカ及びモーリシャス訪問\(令和2年12月8日～14日\)](#)

[茂木外務大臣の中南米及びアフリカ訪問\(令和3年1月4日～14日\)](#)

年始にあたり、アフリカ連合(AU)関連の今年の主な動きを展望したいと思います。

【AfCFTA(アフリカ大陸自由貿易圏)】

1月1日から AfCFTA(アフリカ大陸自由貿易圏)が開始されました。世界中で内にももる動きがある中で、アフリカの統合と開放性を示す象徴的な自由貿易圏の誕生です。リージョナルバリューチェーンの観点からも期待ができ、日本のビジネス界の皆様に関心の高さも感じています。

【2021年は、「芸術、文化、遺産」の年】

AUは毎年その年の重点事項をテーマとして掲げています。2021年は「芸術、文化、遺産-私たちが望むアフリカ建設のための槌子」("The Arts, Culture and Heritage: Levers for Building the Africa We Want")が掲げられています。理想のアフリカ像からバックキャストしている点、アフリカのこれまでのレガシーに今日的意義、将来的意義を与えようとしている点は、非常に参考になると思います。

【新しいリーダーシップ】

今年は、AUの中心機関であり執行機関でもあるアフリカ連合委員会(AUC)の選挙の年です。コロナ禍の影響で予定どおりの選挙が出来るか不確定との見方もありますが、予定では、2月の改選で新たな執行部が発足します。AUC の新たなリーダーシップの打ち出す方向性を見極めつつ、日本の強み、魅力をアピールし、共同作業による関係強化を図っていききたいと思います。

アフリカから学びながら、そして、多くの方の声を聞きながら、物事を進めていきたいと思っています。ご意見をお寄せください。メールの宛先はこちらです。

japan-au.mission@ua.mofa.go.jp

2021年(令和3年)1月

アフリカ連合日本政府代表部 特命全権大使

堀内俊彦



「アマビエ」